

福岡医療短期大学の校章を制定

福岡医療短期大学の校章が新たに制定されました。この校章のデザインは、学内で広く公募を行い、学生から応募のあつたラジオオラスの花の作品を基に制作しました。基となる作品を提案した学生は、「ピンクのラジオオラスには『たゆまぬ努力』という花言葉があり、日々進歩する医療に対して付いて行けるよう勉強を怠らず、自分自身を向上させる努力を惜しまないという意味を込めた。」と話していました。



福岡医療短期大学保健福祉学科が閉学科

福岡医療短期大学保健福祉学科が2021年3月31日をもって閉学科となりました。保健福祉学科は、介護福祉士養成学科として2000年4月に開設。2015年には、福岡県の介護福祉士養成施設では初めてとなる喀痰吸引等登録研修機関として登録されました。また、介護福祉士のスペシャリストを育てる教育は、その取り組みが文部科学省に高く評価され、通算6つの文部科学省のGP（優れた教育プログラム）の選定を受けていました。しかし、介護職を取り巻く環境は厳しく、全国的に介護福祉士を目指す学生が減少するなか、福岡医療短期大学も2020年度の保健福祉学科の募集を停止。2021年3月に最後の学生6名が卒業を迎え、21年の歴史に幕を下ろしました。



学校法人福岡学園・福岡歯科大学 創立50周年記念講堂 起工式を挙行

3月30日、学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念講堂建設工事に先立ち、起工式が執り行われ、水田理事長、田口常務理事、高橋福岡歯科大学長をはじめとする本学園関係者ならびに設計および施工関係者が参列し、これから始まる工事の安全を祈願いたしました。この講堂は、2022年に学校法人福岡学園・福岡歯科大学が創立50周年を迎える記念事業の一環として、旧病院跡地に建設されます。約550人収容の大ホールと共に、大小のセミナー室を配置し、1階にはフードコートも設置され、2022年6月の完成を目指し、工事が進められます。



「学術研究振興資金」に 福岡歯科大学日高教授が採択

日本私立学校振興・共済事業団による2021年度学術研究振興資金の選考結果が発表され、福岡歯科大学の日高真純教授（分子機能制御学分野）の研究課題「DNA損傷に応答して細胞死を選択する制御機構の解明」が採択されました。本資金は、私立の大学、短期大学、高等専門学校における社会的要請の強い学術研究に交付されます。各学校からの応募は1課題のみに限定されており、2021年度は新規応募件数108件のうち、採択は17件のみ（採択率15.7%）と難関の研究助成です。

本研究は、がん細胞優先的な細胞死誘導を目指した基礎研究であり、口腔扁平上皮がんの新たな治療法につながる独創的な研究テーマである点が評価され、採択となりました。

